

川崎市6月
市議会報告

川崎市で1番のマンモス校

西中原中学校の過密解消を



おおば
裕子の

ゆうゆう通信

日本共産党
市議会議員
(中原区)
市政報告

NO.6
2007年8月

(連絡先)
日本共産党
川崎市議会議員団
TEL (200-3360)
FAX (245-4140)
日本共産党
川崎中部地区
TEL (544-7151)
FAX (541-9228)

市議選後初の定例市議会(六月)(一般質問) おおば裕子議員が地域要求かかげ初質問

去る七月二日、川崎市議会六月定例会で、日本共産党のおおば裕子議員が初質問に立ち、市民から託された切実な要求実現のために頑張りました。つめかけた支援者が傍聴席から見守る中で、四点にわたって質疑を展開し、市当局から前向きな答弁を引き出しました。

西中原中学校の過密解消問題対策

生徒数一二〇九名、学級数三十三の(特別支援学級含む)西中原中学校は、今後も学級増が予想される市内最大のマンモス校です。おおば議員が、新設校設置も視野に入れた学区の見直

しを求めたのに対し、教育長からは「地域父母の意向や近隣校の状況等も調べ、検討する」との答弁がありました。

また、老朽化した校舎施設の早期改善では、二〇〇九年度の大規模改修計画が明らかにされました。

青年雇用対策と生活支援

六月に開設された「キャリアサポートかわさき」の活動状況と、就職準備セミナーでの使用テキストについて行政の認識を質しました。

テキスト問題では、面接時の心得として「賃金、休日、勤務時間等につい

ては聞かない」という記載は、労働者の権利を侵害する重大な内容であると指摘しました。市民局長が適正な指導を約束したのに対し、業者(東京リーガルマインド社)の受講者へは、適切な援助をとるよう求めました。

子育て支援センターの増設を

中原区には子育て世代が市内で最も多いにもかかわらず一カ所(市内一八カ所)しかないのが、子ども文化センターの活用も含め、早急に増設するよう要望しました。

この他、等々力水処理センター上部の暫定活用については、敷地に面した道路の歩道整備を含め、順次利用できるように調整すると答弁が得られました。



おおば裕子さんに期待します

川崎合同法律事務所

弁護士 篠原 義仁
(上小田中在住)

阿部市政の下で、医療、介護、教育、公害環境予算が大幅にカットされている。税金に限りがあることは当然だが、財源がないからできないのではなく、税金の使い道が間違っていて、やらないのではないか。臨海部再開発をはじめ、全市の大企業向けの大型開発はひき続き進行している。

今秋には、川崎区の廃棄物施設・かながわクリーンセンター、ビジネスホテルの建設、麻生区王禅寺の山林を異常な高価で取得した問題で、税金の無駄遣いを減らすために、監査請求・住民訴訟を予定しています。ただちに税金の無駄遣いをストップさせ、市民生活に予算を増やそうと奮闘している、おおば裕子さんに同じ区民としてエールを送ります。

再就職支援

市も不適切テキスト 「面接時、給与聞かない」

労働者の再就職支援セミナーで、面接時に給与や休暇についての質問をしないよう指導する内容のテキストを、川崎市が使用していたことが二日、分かった。市は「誤解を与えかねない表現があり、不適切」として、セミナーを委託した会社に改善を指示した。市議会一般質問でおおば裕子議員(共産)の質問に、小宮山健治・市民局長が明らかにした。

テキストは東京都内の各種試験予備校経営会社が作成。面接の質疑応答で自分から給与、休日、勤務時間等について

おおば議員の「キャリアサポートかわさき」に関する質問内容が、七月三日付の朝日新聞で紹介されました。



初質問する大庭裕子議員(7月2日)

元住吉のブレイメン通りで共産党のマニフェストを配っていると、二人の女子中学生が、「マニフェストを下さい」と近寄ってきました。「マニフェストの？」と聞くと「学校の勉強で憲法9条について調べています。」と答えが返ってきました。私は



「戦争しないって書いてある『憲法9条』を守って、ガンバルね」と声をかけ、その後、別の女の子たちが来て、「私たちにも下さい」と、前の子たちに話を聞き、取りに来た様子でした。「がんばってください」と激励され、中学生たちに元気をもらいました。

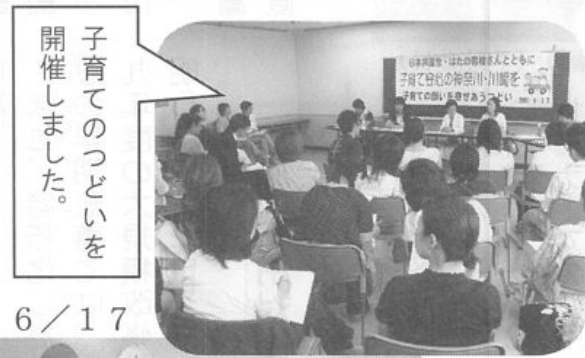
今、安倍内閣は、過去の日本の侵略戦争が「正しい」戦争であったとか、「従軍慰安婦」問題はなかったこととする人たちが政権の中心にいて、9条を

変えるための枠組み作りに躍起になっていきます。教育現場には、愛国心を押し付け、間違った歴史観を持ち込むという流れをつくらせています。

私たちは、次の世代に何を伝えていくのか問われていると思います。この街で、子どもたちに「憲法9条」から命の大切さや対話で平和を解決する力などを、この夏、私にできる行動で伝えていこうと思います。



2007年8月 若井 茂



子育てのつどいを開催しました。



子育て支援センター「すみよし」視察しました。

6/26

川崎市政に望むこと

反核と平和な川崎市に

石川 正士

(新日本スポーツ連盟 神奈川県連盟理事長)



私は四十二年間法政二高に勤務し、宮内にも十年余り住んでいましたので中原区は「地元」です。

新日本スポーツ連盟は、「スポーツは平和とともに」を合言葉に、神奈川県「反核マラソン」を平成元年から続けています。今年も七月八・九の二日間、県内八コースで、反核・

私たちの町 歴史ある地名 「上小田中」
上小田中は、中原区の北西から南東方向に流れる二ヶ領水と、ほぼ平行して走るJR南武線との間に長く広がる地域です。
江戸時代末にこの地を調べた本にも、「田多く畑少なし平地にて山なし」とあります。その頃、大谷戸と神地の二つのままりがあり、一つずつの村のように言っていたと、伝えられています。この地に古くから住んでいた人達には、富士通の裏あたりから西を「オオガイトー」、中原街道あたりまでを「ゴージ」と呼び、地域の子供会の名前でもありました。今も大谷戸はわくわくプラザや小学校に、神地は老人いこいの家、保育園等にその歴史ある地名を残しています。(やすいみちこ)



現在の中原街道